



冬耳 Fuyuji

回 転

2013年2月26日(火)～3月17日(日)

12:00～19:00 月曜休廊 (最終日～17:00)

レセプション 3月2日(土) 17:00～

ソフト&ウェット | 1460×2900mm | 2013

冬耳の作品は、極彩色で艶やかな原色と、怒涛のように連続するモチーフに溢れています。

隠喩のない無機質な表情をもたらす緊張感と、圧倒的な量の色彩が与える統一感が、鑑賞者の内なる意識を刺激していきます。

深遠な夜空と花園の同時性、人と樹木が溶け合う神秘性が、時空を超えたイマジネーション溢れる世界に誘い込みます。

今回の個展では、平面作品十四点に加え、初の試みとなる立体作品も併せて展示致します。皆様のご高覧をお待ち申し上げます。

We exhibit the exhibition of Fuyuji as the 1st anniversary of Galerie Ashiya Schule.

The works of Fuyuji are full of primary colors and a succession of motifs.

The title "Rotation" means the rotation of seasons in nature and is associated with the theme of the relation between men and nature.

結果的に少し延びたのですが、今回の展覧会はギャラリー開廊1周年を記念した、立春の頃からの予定でした。立春という暦の上での季節の移り変わりに、私の作品の様な鮮やかな色と共に始まる2年目の春、ということで。その時”春”というものが私の中でキーワードとして出来上がってしまい、それが強く頭から離れませんでした。”季節”のことをイメージする時、とても大きなサークルがあって、その中に四季というフロアがあり人々がその中を巡回するというビジョンがあります。これはたぶん各個人が持ち合わせている色々な言葉に対するありふれた脳内ビジョンだと思いますが、私にとっては「四季が巡っている」のではなくて「人々が巡っている」なのです。いつもならもっと情緒的な言葉を選択するのですが、春という言葉に縛られたくもなく、よりニュートラルな「回転」という言葉が自然と生まれました。

もともと原初的なことに興味があって絵を描いています。その上で”循環”や”輪廻”という言葉は、日本に生まれ育った私にとって切り離せないキーワードです。「回転」はそういった意味でもニュートラルでいい言葉ではないかと思いました。

物事はグルグル回っています。気の遠くなるほど複雑な構造の中で生きている私たちですが、それを優しく紐解き、シンプルな美しさを紡ぎだせればといつも思います。それが私にとっての”原初”的なものなのではないかと考えています。

2013.3 冬耳